

兵庫県議会議長 様

県立高校の統合計画を見直し、少人数学級によって教育の充実を求める請願書

(請願者) 公立高校を考える会

(請願趣旨)

2022年7月14日、突然、県立高校14校を2025年に『発展的統合』するという計画が県教育委員会から発表されました。

子どもたちを通じて、A4裏表1枚のプリントが配布され、少子化を根拠としながら『発展的統合』(=高校統廃合)をすすめることによって「魅力と活力のある高校づくり」ができるとの簡単な説明がありました。しかし、保護者・地域住民に全く説明もなく、疑問や不安に応えるものではありません。

この高校統廃合計画により、通学時間が長くなり、特に交通手段や通学費、学費の関係などから、子どもたちの教育の機会を奪うことにもなりかねません。また、それぞれの学校が積み重ねてきた伝統や特色から来る魅力に引かれて進学を目指してきた子どもたちの将来や夢を奪う結果となります。

統廃合の対象となっている高校の多くは、児童生徒の急増期で、高校進学希望者が増加している時期に、保護者・地域住民を中心とした、いわゆる「高校増設運動」によってできた高校です。私たちは、統廃合計画は「県民の参画と協働の推進に関する条例」(2002年公布)に反し、住民参画もなく進められており、問題が大きいと考えています。

兵庫県は全国に先駆けて1992年に高校で40人学級を導入した県です。そして現在は、小学校で35人学級が段階的に引き上げられていくことが国によって決められています。兵庫県も独自に小学校4年生まで35人学級としている他、県内のいくつかの市町では中学校での少人数学級もすすめられています。私たちは、高校での少人数学級をすすめることが、生徒たちへの教育環境をより一層改善していくことにつながると考えています。

私たちは、子どもや保護者・地域住民の意見が十分反映され、すべての子どもたちが、生き生きと学べる場を等しく保障されるよう、統合計画の見直しを強く求めます。

【請願事項】

- 1 県立高校の統合計画を見直して、子どもや保護者、地域住民の意見を取り入れた豊かな教育条件を整えてください。
- 2 高校での少人数学級をすすめ、教育環境をより一層改善してください。

お名前	ご住所